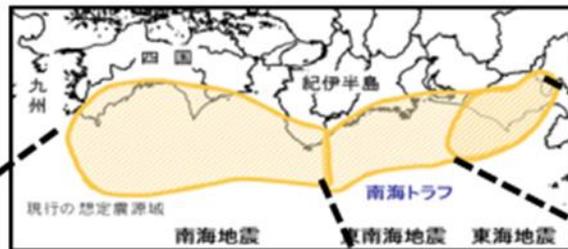


これまでの大規模災害の教訓を活かした 徳島県における災害体制の強化

徳島県 危機管理部 とくしまゼロ作戦課

海溝型地震 南海トラフ沿いで発生する大規模な地震

○ 概ね100～150年の間隔でM8程度のクラスの大規模地震が発生



<被害様相>



(津波高) (死者数) (倒壊・流出家屋)

1605年	--	--	--
1707年	--	約5千人	約80千棟
1854年	--	約2～3千人	約62千棟
1944年	最大10m	1,251人	約29千棟
1946年	最大4～6m	1,330人	約2千棟

南海トラフ地震が発生する確率

今後30年以内の発生確率は70%程度 M8～9クラス

東日本大震災
(H23.3.11)



徳島県

「想定外」という言葉を繰り返すことなく
「南海トラフ巨大地震」を迎え撃つ



◆ 「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る 震災に強い社会づくり条例」

(H24.12.21施行)

～ 南海トラフ巨大地震、中央構造線・活断層地震等に備える条例 ～

● 県民共通の基本理念を規定

- 「助かる命を助ける」ことをはじめとする「減災」を基本として、震災対策を実施
- 「自助・共助・公助」を基本に関係者が連携して、震災対策を実施

● 「自助・共助・公助」の役割を規定

- 災害予防、応急対策、復旧・復興
3つの対策の各段階で
それぞれの役割を明確化

● 土地利用に関する規定

- 地震・津波災害を予防する
土地利用の「適正化」と「緩和」



とくしまー0（ゼロ）作戦・地震対策行動計画

基本方針

- I 加速する地震津波対策
- II 進化する「命を守る」対策
- III 広がる生活の質（QOL）確保対策
- IV 進展する強靱な社会づくり
- V 立ち上がる復興まちづくり

「とくしまー0（ゼロ）作戦」の展開

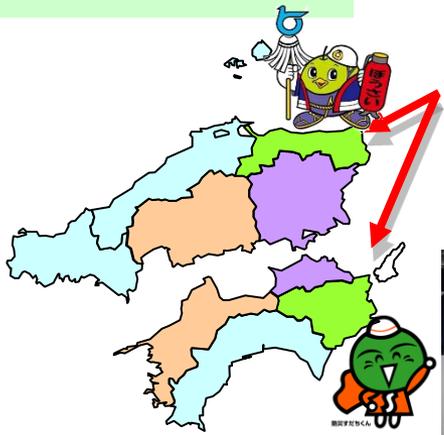
◆ 災害時に備えた広域連携体制の構築

中四国地域における相互応援協定

全国初！平時からカウンターパート方式導入

- H23. 8 中四国サミットで徳島から提案
- H23.11 「基本合意書」締結
- H24. 3 相互応援協定の改定(再締結)

- 徳島-鳥取
- 香川-岡山
- 愛媛-広島
- 高知-島根・山口



熊本地震を受け

新たな鳥取県と徳島県との
危機事象発生時相互応援協定 **H28.9** 内容拡充



- 主な改定項目
- ・震度6弱以上の地震発生時におけるプッシュ型支援
 - ・災害対応業務の標準化共同研究
 - ・災害対策本部運営などへの支援

進化する相互応援体制

H16. 3 徳島・鳥取 相互応援協定

- ・災害対策における**隔遠地協定**締結

H23.11 協定改定 **同時被災リスク小**

- ・**広域応援調整**を行う職員派遣
- ・**避難者受入れ、被災企業支援**
- ・**市町村等の相互応援体制構築**

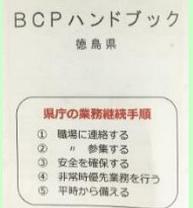
◆ BCP（業務継続計画）の推進

県庁BCP(南海トラフ巨大地震編)(H26.3)

南海トラフ巨大地震の「津波浸水想定」、
「被害想定」を踏まえ、改訂

熊本地震や鳥取県中部地震を
踏まえて、あらゆる危機事象に
対応

H29.3 改訂



※ 平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震の際に、
30分以内に、リエゾンを派遣

「とくしま-0（ゼロ）作戦」の展開

◆「防ぎ得た死」をなくす！戦略的災害医療プロジェクト

東日本大震災の課題

- DMATから、医療救護班や地域医療への移行に混乱
- 長期にわたる被災後生活までの地域医療の確保
- **3千人を超える災害関連死**

プロジェクト

目的

災害関連死をはじめとする「防ぎ得た死」をなくす

目標

- ◇ 平時から災害時へ、災害時から平時へ、つなぎ目のない「シームレス」な医療を提供
- ◇ 医療関係者だけでなく「地域ぐるみ」による医療提供体制を構築

取組

○ 戦略的災害医療プロジェクト「基本戦略」策定

○ 「災害医療推進基金」創設

災害医療力の強化

- ◇ DPAT(災害派遣精神医療チーム)創設
- ◇ 「災害医療コーディネーター・DMAT」強化
- ◇ 災害医療応援・受援体制の構築
- ◇ 医薬品備蓄・集積、輸送等供給体制整備
- ◇ 自衛隊等と連携した機動力強化



▶熊本地震発生後、益城町へ派遣

H28.4.15～

避難環境の向上

- ◇ 避難所評価に「スフィアスタンダード」導入
- ◇ 快適避難所運営リーダー養成
- ◇ 避難所開設チェックリスト作成



スフィアプロジェクト研修の実施

H27～

災害時快適トイレ計画

H29.3.29策定

- ◇ 災害時のトイレの確保及び環境向上の取組を体系的・計画的に推進

仮設トイレの洋式化を推進 H28～

平時 「携帯・簡易トイレの備蓄」や「トイレ環境の向上」

災害時 「迅速なトイレ確保」や「快適環境の構築」

要配慮者支援

- ◇ 医学的管理が必要な要配慮者への療養継続支援
 - ・ALS患者電源確保
 - ・難病患者安心手帳
 - ・オストメイト用装具備蓄
- ◇ 患者支援医療機関の体制整備



H27～

大規模地震・津波災害に備えて



康暦碑
建立：1380年
正平南海地震

歴史に学ぶ



慶長・宝永地震津波碑
建立：慶長碑1664年
宝永碑 不詳
慶長南海地震、宝永地震

想定外を繰り返さない



女川町HPより 津波状況



東日本大震災から6年



女川町HPより 復興状況

災害への意識の高い人材が必要

- 地震への備え
耐震対策
・家具固定



- 地震発災時の対応
率先避難



- 復旧・復興
生活再建及び
地域への協力

